

平成31年度一般入試問題（第2次）
日本語問題（出題意図）

《自然科学研究科 農生命科学専攻（生命科学コース）》

生命科学コースでは、生命科学分野の幅広い基礎知識と、研究を理論的に遂行する能力が必要となる。入学時に必要とされる基礎知識については、その習得度を総合的に判定するとともに、問題解決に必要な論理的思考力および表現力を評価する。

- 問1 幹細胞に関する基礎知識と理解度を問う。
- 問2 酸化的リン酸化によるATP生成機構の理解度を問う。
- 問3 動物の繁殖様式についての基礎知識と理解度を問う。
- 問4 生物ゲノムについての基礎知識と理解度を問う。

平成31年度自然科学研究科入試問題（第2次）

英語（出題意図）

《自然科学研究科 農生命科学専攻（生命科学コース）》

問1. 生命科学コースでは、専門に関する英語の論文を読んで理解することにより知識を拡充し、実験方法など自身の実験の参考とすることが必要となる。その為、必要とされる英文の読解力を判定することを意図して、専攻に関する英文和訳等を出題する。

問2.

(1) 生命科学コースでは、専門に関する英語の論文を読んで理解することにより知識を拡充し、実験方法など自身の実験の参考とすることが必要となる。その為、必要とされる英文の読解力を判定することを意図して、専攻に関する英文和訳等を出題する。

(2) 生体内では様々な化学反応が進行している。これらを深く理解するためには、化合物の構造に基づいた機能と、それらの化学反応の理解が必要となる。その為、基礎的な有機化合物の構造と、関連する化学反応に関する理解度を判定することを意図している。

問3. 生命科学コースでは、専門に関する英語の論文を読んで理解することにより知識を拡充し、実験方法など自身の実験の参考とすることが必要となる。その為、必要とされる英文の読解力を判定することを意図して、専攻に関する英文和訳等を出題する。

問4. 生命科学コースでは、専門に関する英語の論文を読んで理解することにより知識を拡充し、実験方法など自身の実験の参考とすることが必要となる。その為、必要とされる英文の読解力を判定することを意図して、専攻に関する英文和訳等を出題する。